

北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備について

《提案・要望の内容》

- 我が国の経済再生や国土強靱化を推進し、日本海国土軸を形成するため、北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備を実施すること
- 1 竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル整備事業〔直轄事業〕の事業化を実現すること
- 2 中野地区 国際物流ターミナル整備事業〔直轄事業〕を重点実施により早期完成すること

〈参考〉

○竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル

我が国唯一の国際定期貨客船（日本－韓国－ロシア）は就航から5年が経過するとともに、クルーズ船の寄港が急増し、去年は本州日本海港湾では第2位の寄港回数となっている。

また、昨年採択された国の先導的官民連携支援事業で、地元の総意として、竹内南地区における「みなと」を核にした賑わいづくりと防災拠点機能を両立できる新たな貨客船ターミナルのあり方がまとめられているところ。

○中野地区 国際物流ターミナル

合板の国内シェア16%を占める境港背後の木材関連企業は、増産体制を整えるつつあり、原木輸入の増加を見込んでおり大型船に対応する国際物流ターミナルの1日も早い整備を強く望んでいる。

事業化の実現！

竹内南地区 複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナル整備事業〔直轄事業〕

我が国唯一の環日本海定期貨客船や外航クルーズ船に対応した新たな貨客船ターミナルの整備

国内航路のミッシングリンク解消

国内定期フェリー・RORO船航路



試験輸送を実施



〇ミッシングリンクを解消し、中国地方と北海道、北陸及び関東の物流促進と効率化を目的として平成25年に**3回試験輸送を実施**。これにより、**輸送コスト・リードタイム削減！** 定期化に向け本年も試験輸送を実施すると共に、苫小牧、新潟、境の**三港連携**を検討。

複合一貫輸送に対応したターミナル整備が急務！

北東アジアゲートウェイ機能

我が国唯一の環日本海定期貨客船航路 就航5周年



境港～東海(韓国)～ウラジオストク(ロシア)



アジアゲートウェイの機能を強化する円滑なCIQ対応が可能なターミナル整備が急務！

クルーズ船の寄港が急増！

2013年 17回寄港、乗客数過去最高で**1万人**を突破！

2014年 12回寄港で乗客数**1万4千人**となり過去最高記録を更新！

さらに2015年は、**20回以上**の寄港で、**3万人**を突破と為る見込み！

専用岸壁となる貨客船ターミナルの整備(事業化の実現)が急務！

官民のおもてなし

- ・観光案内通訳ボランティアが始動
- ・初のWi-Fi、外貨両替 機の設置

通訳やWi-Fi整備
※通訳ボランティアもてなしに努める



昭和南地区



マリナー・オブ・ザ・シーズ号初寄港(H26年10月23日)

山陰中央新報(平成26年10月24日)

竹内南地区貨客船ターミナル整備

～みなとを核とした官民連携による賑わいづくり～



【賑わいづくり計画の3つの柱】

- 竹内南地区の
- ①圏域観光の魅力向上
 - ②圏域産業の拡充
 - ③圏域内外を結ぶ交通ネットワークの拡充

1日でも早い完成を！

中野地区国際物流ターミナル整備事業 [直轄事業]

背後の企業が増産体制



- 設備投資

A工場 平成24～	10億円	} 50億円
B工場 平成22～	39億円	
C工場 平成23年	1億円	
- 雇用創出
工場増設による直接雇用増 30名程度

着々と増産体制を整え
原木輸入量が増加へ

合板増産に伴い原木の野積が増加
↓
更に野積場が不足



【課題】 原木・チップ船がクルーズ船と同じ岸壁



【課題】 クルーズ船入港時の沖待ち状況



【課題】 非効率な荷役



今年度 ふ頭用地概成の見込み



原木を昭和南地区から中野地区へ

国際物流ターミナルの
1日でも早い完成が必要